

LTCB 100

施工手順書

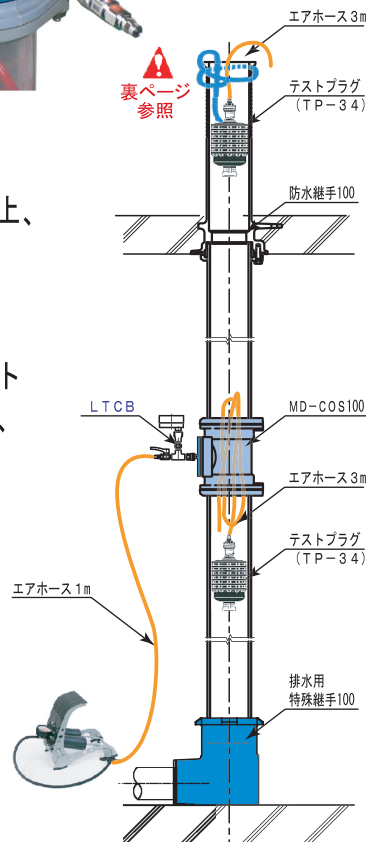
防水継手用満空試験治具（LTCB）は、屋上階に設置された防水継手と伸頂通気管との接合部の水密性を空気圧（水を使いません）で試験します。

とくに、先付け施工された防水継手から階下の排水用特殊継手までの間は配管が難しい上、水密性能のうまい試験方法がありませんでした。

その結果、防水継手下部の管呑込代が不足した状態であったり、フランジの締め付けが不十分な状態で施工され、漏水事故がありました。

LTCBを用いた試験方法では防水継手と階下の排水用特殊継手の間に予め掃除口付ソケット（MD-COS）を設け、掃除口と防水継手からそれぞれ下方にテストプラグを挿入し膨張させて、両プラグ間に空気圧を加えて試験を行います。

電気、水を使用しない環境重視型の新しい試験方法です。



●試験条件 (SHASE-S 206-2009気圧試験に準拠)

試験圧力：最小 35kPa (0.035MPa)

保持時間：最小 15分

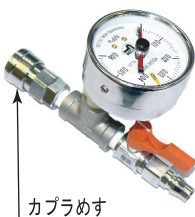
判定条件：漏れのないこと

●防水継手の満空試験に必要な用具

防水継手用満空試験治具 L T C B

ゲージ付コネクタ

⚠ 衝撃を与えないようご注意ください。



エアホース (1m)

カブラめす

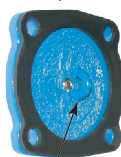
ふた

表

裏



カブラおす



ナスカン取付穴

専用コンテナ

寸法 450×295×260H



エアポンプ



テストプラグとエアホース2セット

テストプラグ (TP-34) エアホース (3m)

安全ロープ



ナスカン



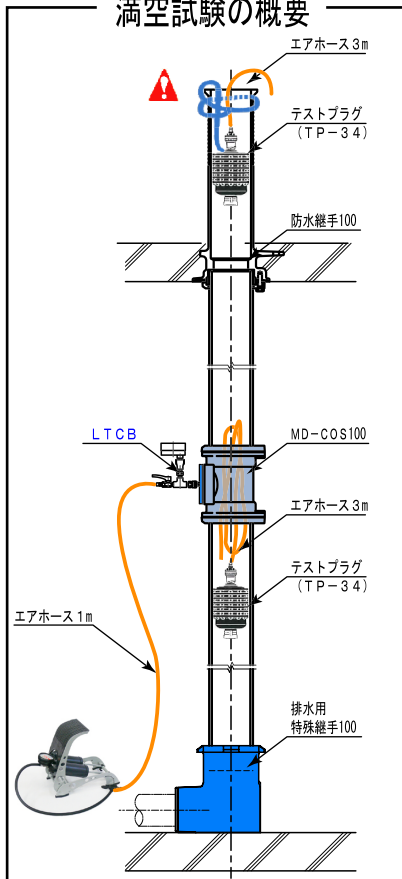
エア抜き治具



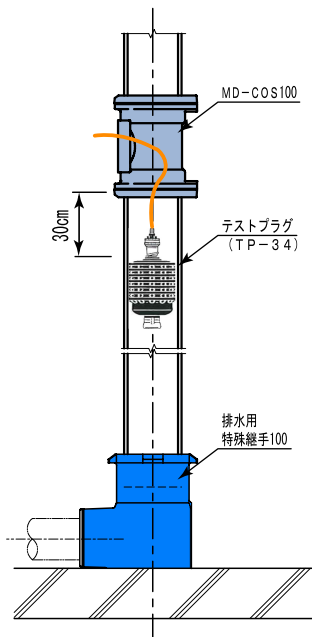
■ 防水継手用満空試験の手順

注1) 必ず屋上の防水施工前に実施してください。

防水継手用 満空試験の概要

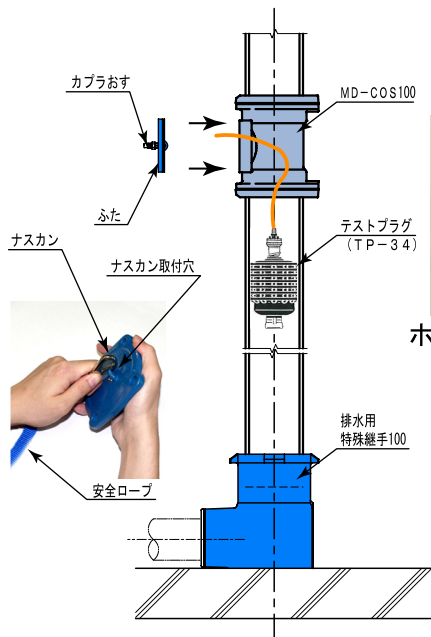


① 掃除口からテストプラグを挿入する



- ・テストプラグ(3mエアホース付)を掃除口から下方へ30cm挿入する
- ・エアポンプまたはエアコンプレッサで適正圧力34kPaまでエアを注入して膨張させる(破裂防止安全弁付)

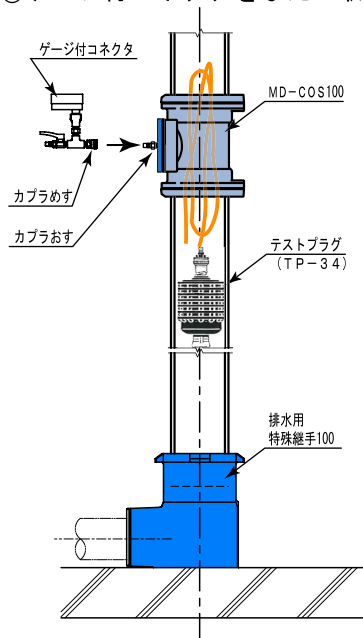
② ふたを掃除口に取り付ける



ホースの収納

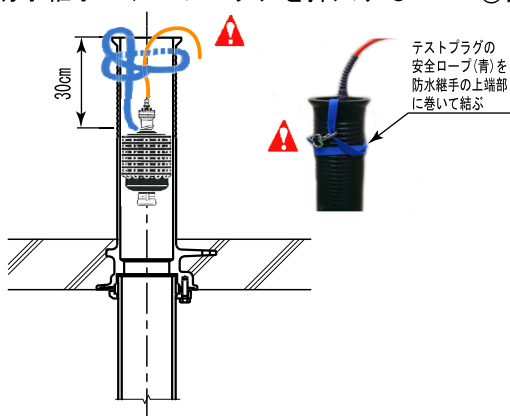
- ・エアホースを掃除口から立て管内へ収納する
- ・安全ロープのナスカンをふた裏のナスカン取付穴に取り付ける
- ・ふたを4本のボルトで締付ける(適正締付トルク20[N・m])

③ ゲージ付コネクタをふたに取り付ける



- ・ふたにゲージ付コネクタを接続する

④ 防水継手にテストプラグを挿入する



- ・テストプラグ(3mエアホース付)を防水継手の端部から直管下方に30cm挿入する
- ・適正圧力34kPaまでエアを注入して膨張させる
- ・**テストプラグに付いている安全ロープ(青)を防水継手の上端部に必ず巻いて結んでください。テストプラグが飛び出してケガをする場合があります。(上図・写真参照)**

⑤ 試験の実施



- ・ゲージ付コネクタに1mエアホースを接続して管内に空気圧をかけバルブを閉じる
試験圧力: 最小 35kPa(0.035MPa)
保持時間: 最小 15分
- ・減圧の有無を確認する
- ・減圧した場合は、石けん水を塗布して発泡の有無により漏れ箇所を発見する
- ・漏れ箇所を補修後再試験を行う

▲ 使用上のご注意

- 注1) 必ず屋上の防水施工前に実施してください。
注2) 空気圧によりテストプラグが飛び出さないように取り付けてください。